

## 金山町におけるシークエンスデザイン提案

～宮崎八景を活用したシークエンスデザイン提案～

インテリア分野 柴崎ゼミ A2201724 三浦尚悟

### 研究の背景

福島県大沼郡にある金山町は現在、限界集落になっており、高齢化や過疎化が進んでしまっている。しかし、金山町には、沼沢湖や甌穴といった稀有な自然要素や、ヒメマスの上流といった特殊な生態を見ることができる川、日本の里 100 選に選ばれている宮崎集落など、幅広い世代を引き付ける潜在的魅力を持つ地域である。その潜在的な魅力を引き出すための、視点場 (view point) や対象の整備を町や県と協力して現在進めようとしている。

### 研究の目的

本研究では、金山町の現状や問題を踏まえながら、潜在的な魅力的景観要素を抽出し、それらを眺めるための view point とその対象を整理してつなげていくことでシークエンスを形成し、広く発信できるようにすることを目的とする。金山町は現在ヒメマスが産卵するため遡上する河川の整備及び環境改善に取り組んでいる。そこで、県の土木事務所と協力し view point のデザイン提案を行う。それ以外にも日本の里 100 選に選ばれている宮崎集落にある宮崎八景に関連付けた view point やその対象を整備してつなげていき、回遊性の創出、シークエンス形成のためのデザイン提案を行うことを目的とする。

### 計画(研究のプロセス)

#### ●前期

- ・金山町の景観調査
- ・県の土木事務所取材
- ・金山町長訪問

#### ●夏季休業中

- ・金山町合宿調査
- ・宮崎集落調査
- ・ヒメマス魚道 view point 調査・デザイン提案

#### ●後期

- ・ヒメマス魚道制作・完成
- ・宮崎八景シークエンスデザインcg制作
- ・宮崎集落模型製作



県の土木事務所取材



金山町合宿調査

## 成果もしくは考察

### ・ヒメマス魚道 view point

ヒメマスの遡上という貴重な生態を子供たちが見るということを念頭に置いてベンチのデザインを行った。川を連想とさせる一筆書きのデザインで、魚道方向、川方向の両方を楽しむことのできるデザインにした。レベルの違いを生むことで視界を遮ることなく複数の人が多様な座り方でヒメマスの遡上を見ることができる。ベンチのデザインは町の方々に気に入ってもらい寄贈という形になった。

沼沢湖周辺にあるサイクリング・トレッキングルートがあるので、そこに回遊性を生むための一つのデザインになった。



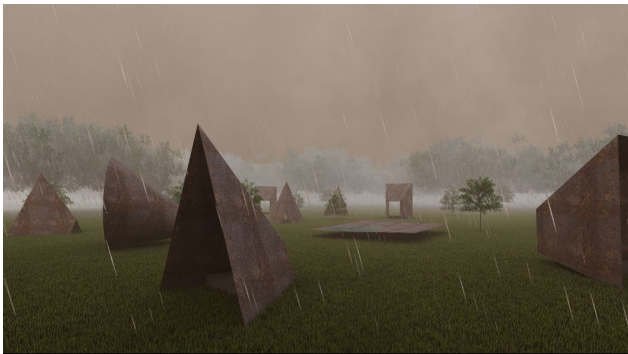
魚道 viewpoint 完成写真



八景の整備を行う場所

### ・宮崎八景シークエンスデザインcg及びアニメーション

日本の里 100.選に選ばれている宮崎集落には「宮崎八景」という、宮崎集落の八つの優れた景色を唄として残したものが受け継がれている。しかし、現状ではほとんどの人が認知していない、そこで八景の唄を感じることのできる視点場とその対象をデザインした。日本の八景文化を残す新たな提案として八景をデザインしcg及びアニメーションで表現することとした。



古城夜雨cgパース



法師青嵐・只見川関根渡船 cg パース

## 考察

今回の研究では、歩いている人や自転車に乗っている人を対象としたシークエンスデザインを考えたが、実際には電車に乗っている人、車で移動する人など多くの移動手段で行動している人がいる。移動手段の違いから感じ取るものも違うだろうし、立ち寄れるかどうかとも変わってくるのでシークエンスデザインとして今回の提案がこの課題にあっているかは実際にできてからではないとわからないが、視点場とその対象のデザインを行い魚道のview point を制作して事と、八景を新しい形として提案した事は金山町の潜在的魅力を引き出すという目的に対して良くできたと感じた。